

# 令和6年度学校経営の重点

- 1 きめ細やかな学習指導やキャリア発達を促す進路指導等本校の良さ・強みを活かしながら、**新高校のビジョン・教育活動の特色を視野に入れたカリキュラムの改善を進める。**
  - (1) 「総合的な探究の時間」を含む探究活動のカリキュラム開発を推進する。
    - ア 各教科との関連性を重視しながら、育成する資質能力を明確にする。
    - イ 探究推進部が核となり、全職員が関わりながら展開できる組織的・体系的な指導体制を模索する。
    - ウ 自然体験や就業体験活動、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験・実習、調査・研究、発表や討論などの探究活動を、生徒の興味関心や進路に合わせた形で積極的に取り入れる。
  - (2) 入学直後から学習習慣の確立を図り、基礎的・基本的な「知識・技能」を確実に習得させるとともに、「思考力・判断力・表現力等」を身につけるための教科指導を充実させる。
  - (3) 自己の進路に見通しをもってキャリア形成が進められるよう、必要な情報や体験活動等の機会を早期に適切に提供し、組織的体系的に進路指導・キャリア教育を行う。
  - (4) 新時代に生きる力を育成するに、AIやアプリ等を含むICTの利活用、「主体的・対話的で深い学び」の授業研究と実践に努める。
  - (5) 「何を学ぶか」に加え、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点から観点別学習評価を更に改善し、指導と評価の一体化を進める。
- 2 「生活は質実素朴に 心は高く豊かに」の精神を柱に、**生徒と教職員の信頼関係を基盤として、全ての教育活動を通して人格の陶冶を図る。**
  - (1) 挨拶やスケジュール管理、生活習慣の確立など社会人として必要な基礎素養を身につける。
  - (2) 学校行事、部活動など実践的体験的な活動を通して、自己肯定感・自己有用感を高めると同時に、規範意識、忍耐力、協働性、リーダーシップ、自主性等の非認知能力を養う。
  - (3) 自他の生命と人権を何よりも尊重する精神、思いやりや共生の心を育み、「いじめは決して許されない」という学校全体としての決意のもとに、いじめの早期発見・解決に組織的に取り組む。
- 3 **ウェルビーイング(Well-being)の観点から、教職員の働き方改革を更に推進する。**
  - (1) 育児や介護等の事情を勘案し、個々の教職員が無理のない働き方ができるような職場環境づくりに努める。
  - (2) DX委員会等の提案を積極的に実践し、ペーパーレス化や業務のスクラップ&ビルドを進める。
  - (3) 「デジらく」を積極的に活用し、採点業務等の負担軽減を図る。
  - (4) 全ての部活動において、「いきいき運動部活動」で示された活動時間等を遵守する。
- 4 **地域や小中学校、大学等の教育機関と連携・協働しながら、「社会に開かれた教育課程」の開発を進める。**
  - (1) 夏祭りやコンサート等地域行事に積極的に関わり交流を深めるなど、地域から愛され、地域とともにある学校を目指す。
  - (2) 本校の教育活動や特色についてHPや学校説明会等あらゆる機会に発信し広報活動に努めるとともに、学校の教育課題を関係機関と共有し協力を得る。
  - (3) 探究的な学びを支える大学等とのコンソーシアム形成を目指し、連携協定を結ぶことができる大学を模索する。